

平成28年4月10日
今週のベストショット



奈多グラウンド 塩浜ジャガーズ 対 奈多クラブ

開幕二連勝の強力打線をけん引する奈多クラブ四番馬場口選手の打球がサードを抜く。

写真 三苦フレンズ 肥喜里一征

青松園A ホーネッツ連覇へ磐石の勝利発進！両チーム新人が躍動。

三苦ホーネッツ (1勝) 0 2 2 0 0 1 5 矢野○ー広木

レッドサンデーズ (1敗) 0 0 0 0 0 1 1 古賀●ー荒口

HR: 山崎 (三苦ホ) 2BH: 矢野 (三苦ホ) 盗塁: 堺恭祐 (三苦ホ)

一回表、三苦ホーネッツは先頭の新人・逸見選手がバント安打後、二死三塁のチャンスも無得点。一回裏レッドサンデーズも先頭の新人・川原陸選手が内野安打で出塁し、得点圏に進むも後続が倒れる。二回表、ホーネッツは先頭の新人・堺恭祐選手が死球、盗塁と相手エラーで三塁に進むと、続く今田選手の一塁ゴロの間に先制のホームイン。さらに松尾選手、三浦選手の連打と四球で一死満塁から一番逸見選手の犠飛で2点目。ホーネッツは三回表にも矢野選手の二塁打を足がかりに2点を挙げ4-0。六回表一死から途中出場の山崎選手の中越えソロでダメ押し。レッドはホーネッツ矢野投手のピッチングに中盤チャンスを作れなかったが、六回裏、新人・古賀選手が右前打、三番神田選手のタイムリーで何とか1点を返すも反撃もここまで。巧みな試合運びでホーネッツが快勝した。(写真、記事: ソルトベイスターズ 田中裕次郎)



今期初戦、緊張の面持ちの両チーム。



レッド先発の新人・古賀風太選手。



一回表、バンドで揺さぶるホーネットス番逸見選手。



バント処理をする古賀投手。



完投勝利のホーネットス矢野投手。



一回裏、バント処理をするホーネットス三浦三塁手。



三回表、センター前を好走塁で二塁打にした矢野選手。



三回表レフト前適時打を放つホーネットス広木選手。



四回裏フライを好捕するホーネットス広木捕手。



キャッチャーフライが多い試合だった。



息子（塚恭祐選手）の活躍に刺激を受け、おやじ復活！



六回表、ソロHRで興奮気味のホーネットス山崎選手。

奈多グラウンド 奈多クラブが10得点で二連勝！！

塩浜ジャガーズ（1敗）0 2 0 1 0 0 3 紺野●、内田一橋村

奈多クラブ （2勝）2 5 1 0 2 × 1 0 今林瑠○ー安河内

HR：紺野（塩浜ジ） 3BH：安河内（奈多ク） 2HB：紺野（塩浜ジ）上野2（奈多ク）

初回、奈多クラブは今林瑠生投手が幸先よく三者凡退に抑えると、その裏塩浜ジャガーズの四死球や失策に犠打を重ね2点を先取。ジャガーズも二回に四番佐藤選手のライト前ヒットから五番紺野選手が2ランHRを放ち、すぐ様に同点に追いつく。その裏、連続四球で早くもジャガーズ紺野投手がマウンドを降り、二番手内田投手が登板するものの、勢いの乗った奈多クラブは止まらない。二番今林瑠生選手がタイムリーヒットで即勝ち越しに成功すると、続く上野選手の2点タイムリー。さらに安河内選手、安倍選手の連続タイムリー等でこの回一挙5点を返した。ジャガーズは四回に紺野選手の二塁打や野中選手、橋村選手の内野安打などで1点を返すが、10安打10得点の奈多クラブの前に完敗した。（記事、写真 三苦フレンズ 肥喜里一征）



完投勝利を挙げた奈多クラブ今林瑠生投手。



塩浜ジャガーズ先発、紺野投手。



二回表、うまく右へ運ぶジャガーズ四番佐藤選手。



二回表、同点に追いつく2ランを放った紺野選手。



二回裏、三塁打を放つ奈多クラブ五番安河内選手。



本日猛打賞の奈多クラブ三番上野選手。



四回裏、ショートゴロを難なく処理する荒木選手。



五回裏、惜しい、もう少しでファインプレーの道喜選手。



五回裏、強烈な打球を放つ四番馬場口選手。



六回表、守備でも活躍する上野選手。

青松園B ライナーズ大接戦を制す！

新町パイレーツ (1敗) 3 0 2 0 0 2 7 弥栄●、吉田一桐島

雁ノ巣ライナーズ (1勝) 1 2 3 2 0 × 8 有馬○ー山崎

HR : 久保田 (雁の巣) 2BH : 弥栄 (新町パ) 盗塁 : 桐島 (新町パ) 中口、永吉 (雁の巣)

両チームにとって開幕試合になったこの試合は初回から動いた。パイレーツ一番弥栄選手が安打で出塁すると二番八坂選手が送りバントをきっちり決め一死二塁。続く桐島選手が四球、四番足立選手のレフト前タイムリーにエラーが重なり2点を先制すると、七番佐々木選手のタイムリーが飛び出し初回から3点を先取。反撃したいライナーズは1番中口選手が四球を選ぶとすかさず盗塁を決める。ここで三番鳥越選手のタイムリーで1点を返す。その後両チー

ム2点ずつ取り合い5対3パイレーツリードで迎えた三回の裏、ライナーズは四球とエラーでチャンスを作ると八番永吉選手のタイムリーと九番山崎選手の犠牲フライ。更に相手エラーが重なり3点を挙げ逆転に成功する。さらに攻撃の手を緩めないライナーズは四回の裏この回りリリーフしたパイレーツ吉田投手からエラーでランナーを1人出し五番久保田選手のHRで2点を加えた。六回表パイレーツは四番足立選手のタイムリーで2点を返したが反撃もここまで。ライナーズが7-8で接戦を制した。この試合は両チームともにエラーが失点に絡む場面が見られた。その中でライナーズの明瀬旭遊撃手選の守備が光り、相手のヒット性の当たりで併殺を決める場面もあった。この守備力の差が勝敗を分けた可能性があったと思うとやはり守備の大切さを考えさせる試合になった。対するパイレーツは俊足を飛ばしシングルヒットと思われた当たりで二塁を陥れた弥栄選手、4打点の足立選手が特に存在感を示し、今回は敗れたが今度のリーグ戦で勝ち進んでいこうと感じた。(記事・写真：ブルーマリーンズ 井手翔一郎)



パイレーツ先発、左腕の弥栄選手。



ライナーズ先発、有馬選手。



一回表、タイムリーを放ったパイレーツ足立選手。



連続ヒットを放ったパイレーツ大濱選手。



HRを放ちベンチに迎えられるライナーズ久保田選手。



打のヒーロー永吉選手(左)と守のヒーロー明瀬旭選手(右)。

雁レクD 息詰まる投手戦を制した三友クラブ、今季1勝目！！

三友クラブ（1勝）000001 1 安達○—柿崎

三苦三球会（1敗）00000× 0 吉留●—藤澤

2BH：谷崎（三友ク） 盗塁：堺太一（三球会）

初回の攻防は両チーム見せ場なく共に無得点。両エースに安定感があつたが二回に早くも三球会にチャンスは訪れた。二回裏先頭の藤澤選手が左飛に倒れた後、右山選手の左前打などで二死二塁とすると続く七番上山選手も左前打を放つ。二塁走者は迷わずホームへ向かうがここで三友の左翼手松尾選手が矢のような送球を見せ本塁タッチアウト。先制を阻止するビッグプレイで逆に三友ベンチが沸き上がる。流れは三友にあると思われたが三回、四回とチャンスをつくれぬ。一方の三球会もこの間、得点の雰囲気すらなく試合は膠着状態に。少ないチャンスを何とかモノにしたい両チームであつた。そんな中、五回裏に三球会がチャンスを迎える。失策や四球が絡み二死二塁の場面で二番堺達也選手が巧みにヒットを放つ。しかしそこで打球を待つのはまたしても強肩左翼手松尾選手であつた。次こそはと本塁に向かう二塁走者をまたしても本塁で刺し三友はこのピンチも乗り切る。試合が動いたのは最終回。三友の先頭打者は四番松尾選手。この日二度にわたりチームの危機を救った男は、最後はバットでチームに勝利をもたらした。鋭く振りぬいた打球は大きな中飛であつたが相手中堅手がこれをグラブに当てながらも落球。飛距離があつただけに松尾選手は一気にホームに帰りこれが決勝点となる。両チーム共に百戦錬磨の投手を擁し、それをリードする捕手に恵まれたチームだけに投手戦になることが予想されたこの一戦。試合は予想通りの0行進であつたが最後に試合を決めたのは三友クラブの熱男だつた。

（記事・写真：奈多フェニックス 実延新伍）



三友クラブエース 安達投手。



三球会エース 吉留投手。



三友クラブ谷崎選手の鮮やかな流し打ち。



クロスプレーの行方は！？ アウトォ～！



決勝のホームイン、三友クラブ四番松尾選手。熱男～～！

第2週編集後記

WSLの皆さん、コンニチハ！

第2週、4月10日は4試合が行われました。

青松園Aの三苦ホーネッツ対レッドサンデーズ戦は、連覇を狙うホーネッツがレッドの新人古賀投手を初回から揺さぶり、大技小技を織り交ぜ5-1で勝利。矢野投手は盤石のピッチングでレッドを散発の4安打。両チームとも新人が先発に名を連ね、今年の活躍が楽しみだ。

奈多グラウンドの塩浜ジャガーズ対奈多クラブ戦は、序盤から点の取り合いの様相。しかし、投手の安定感が勝敗を分けた。ジャガーズも安打を連ねたが、初戦をその打力で勝利した奈多クラブが勢いそのままに3-8で連勝した。ジャガーズ紺野選手は投手としては試合を作れなかったが、打ってはHRと二塁打を放ち存在感を示した。

青松園Bの新町パイレーツ対雁ノ巣ライナーズ戦は、大シーソーゲーム。10安打を放ったパイレーツが7点を挙げれば、半分の5安打ながら四回裏の久保田選手の2ランで逆転したライナーズが7-8でこの接戦を制した。パイレーツは投手力の底上げが今年のカギになりそうだ。

雁レクDの三友クラブ対三苦三球会戦は、1点を争う大投手戦。三球会が再三の得点圏でのチャンスを潰す中、2捕殺を決めていた三友クラブ松尾選手の激走が勝負を決めた。手に汗握る接戦を制した三友クラブは10代の新人も加入して勢いに乗りそうだ。

2週目を終了して、唯一連勝の奈多クラブが一步リード。長いシーズンどこが待ったをかけるのか？

熊本を中心とした震度7の大地震が九州を襲っています。福岡でも震度4を記録するなど被害が出ています。防災の意識を持って慎重な行動をとりましょう。

また、被害に合われた方々には、謹んで哀悼の意を表したいと思います。